

日時 令和 8 年 2 月 7 日(土)
午前11:10 分～正午
場所 きぼーる 15 階
(社福)千葉市社会福祉協議会
中央区事務所
ボランティア活動室

令和7年度第 2 回地域リーダー研修に引き続き、関連して次のとおり、区民対話会を行いました。

初めに、中央区長により地域リーダー研修の講師(星久喜地区町内自治会連絡協議会会長(以下「星久喜地区連会長」、市民自治推進課)及びスマートシティ推進課長の紹介を行い、続いてパネルディスカッションとして実施しました。

○スマート推進課長

スマートフォンやパソコンを使って、暮らしを便利にする動きが広がっていますが、スマートシティ推進課は、デジタルを上手に使うことで便利で安心快適な生活を支援する事業を市役所の各部署や企業、大学と連携して行っています。

○区長

本市は、町内自治会の加入率が低く、特に中央区は、他区より低いですが、加入しないのは何が原因なのでしょう？

○市民自治推進課

理由のひとつ目に、中央区はワンルームマンションが多く、最近住み始めた方は近所付き合いを敬遠しがちなことや分譲マンションでは、管理組合があるので、それだけで不自由を感じていないことが挙げられます。

ふたつ目は、役員の負担が大きいという点です。その負担により役員に選出されそうになってやめてしまう事例も見受けられます。

三つ目は、加入するメリットが見えづらくなっている点です。未加入者へメリットを感じさせる働きかけが必要だと考えており、開発業者や管理会社に協力してもらうことを検討する必要があると思っています。

多くの業務をお願いしていることへの負担過多ということに関して、市として業務の棚卸しを行っているところです。

○区長

中央区は、町内自治会加入率が低い理由としては22万人を抱える都市部であり、ワンルームマンションも多く、人口も上昇傾向であり、単身者の流入も多くなっています。転入時にはリーフレットを配り、メリットを説明しているが、結果に繋がっていません。

○区長

町内自治会について、星久喜地区での住民の声はどのようなものがありますか？

○星久喜地区連会長

星久喜に住んでいるメリットを感じてもらうため、星久喜は星フェスという祭りを開催しています。40代が中心となって、頑張っています。その中で、各団体が活動発表をしています。私の星久喜町南部町会は、じゃんけん大会でスーパーマーケットの5000円の商品券を2枚景品としました。そこで、この町内自治会はいよいよというPRを行いました。参加したくなるような仕掛けも必要です。地域の魅力発信という意味では、町内自治会だけでなく、地域運営委員会を含め、地域全体で考えることが重要です。本来なら、町内自治会に入らないと正式には祭りに参加できません。実際には、会員でなくても、参加できるが、会費で成り立っていることをきちんと伝えることが必要(チラシにも記載)です。

○区長

加入していない人の意見は把握していますか？

○星久喜地区連会長

加入していない人ともつながりがあります。小学生が交通事故にあったことで、ジグザグの道路を敷設することになりましたが、そこは町内自治会空白地帯で、回覧もできません。そこで、出向いて説明をしたり、住民説明会の案内をしたりしました。活動することで、会の存在を示せればと思っています。ごみステーションや防犯街灯について「使っているのだから入会しろよ。」ではなく、魅力や会の存在意義を伝えることが大事だと思います。

○区長

町内自治会を通じて、生活をよくするための要望ができる仕組みが整っています。市県国へ要望も可能です。声を聞けるということをPRして、是非、ジグザグ道路の件をきっかけに加入促進していただければと思います。

○区長

もうすぐ3G回線が使えなくなり、ますますスマートフォン中心になります。このような中、高齢者がどれだけスマートフォンが活用できるのか。また、スマートフォンの保有率の状況は、いかがですか。

○スマートシティ推進課長

デジタル化を進める上でスマートフォンを持っていることはとても重要です。11月に実施した市民アンケートの結果として、60代まではほとんど保有、70代92% 80代84%とすでに多くの方が持っていて、電話やメール、LINE を使用している方が多いです。

なお、アンケートは、手紙でお願いしましたが、WEB での回答が意外と多かったです。

○区長

スマートフォンの活用を市としてどう支援していますか。

○スマートシティ推進課長

いきいきプラザ、公民館、コミュニティセンターで講座が行われています。また、各携帯キャリアの店舗での講座にも、高齢者の方が多く参加されています。

○区長

私の親世代も積極的に使おうとしています。身近なところでも LINE や YouTube 等活用しています。

○区長

市内で、デジタル化に取り組む町内自治会の状況はどうか？また、どのような感想をお持ちですか？

○市民自治推進課

「いちのいち」の実証実験5団体、LINE アカウント、ZOOM の実証実験が3団体となっています。

メリットとしては、防災情報など即時性の情報に対応できること。慣れ親しんだ LINE、どこからでも参加できる ZOOM にもメリットを感じているようです。

○区長

私の知っている町内自治会では、市の補助は終了した「いちのいち」での回覧が引き続き行われています。そのメリットとして、後でも見ることができるし、紙回覧世帯を飛ばすこともできます。

このようにICT化によりできることを知ってもらうことで、加入率が上がれば良いと思います。

○星久喜地区連会長

ICT化に関連していますが、そもそも人的なつながりを強化し、持続できるような仕組みを作ることも必要です。星久喜では、クラフトビールの会を作りました。40代が中心で、お酒の力を借りて繋がりをつくっています。町内自治会活動の孤独感を感じることがありますが、これらを通じて感じないようにしていきたいと思います。現在、このつながりにもICTを活用しており、他の情報交換にも使っています。

○市民自治推進課

令和8年度以降 業務の棚卸しやDXにより役員の負担を軽減していきたいと考えています。

○スマートシティ推進課長

星久喜地区の取組みに関心しました。デジタル化すると漠然とうまくいくというイメージを持たれがちですが、状況に応じた適切なデジタルツールを選ぶことが必要です。課題を絞る方法も有効だと思います。

LINEという身近なツールを使う。小さい身近なところからやるとやりやすいし、失敗してもリカバーしやすいので、参考になります。気をつけなければいけないのは、ツールが苦手な方は、友達登録はできないとか、通知がいっぱいくるとかで分からないことが起きるとすぐに離れてしまいがちです。そういう部分を若い人に教えてもらうことで自治会に関心をもってもらうきっかけにもなれば良いと思います。

○星久喜地区連会長

ICT化により役員の事務仕事の軽減をするとともに、これにより会費の使い方を見える化したいとも思っています。

○区長

本日の参加者からご質問やご意見はございますか。お願いします。

○参加者 A

私の町内自治会のエリアに約60世帯のマンションがあります。管理組合はあるが、自治会活動をしていません。お子さんは多いですが、町内自治会のお子さん向け行事に参加できません。市として管理会社へ働きかけはした方が良いのではないのでしょうか。

○区長

管理組合をみなし町内自治会とする方法もあります。管理組合で自主防災会を作っていることもあります。ケースバイケースですが、管理組合が単独で組織している例も多く、周りの町内自治会に取り込むのは難しいケースもあります。

市民自治推進課として、今後の開発業者や管理会社への働きかけをどう考えていますか。

○自民自治推進課

新規開発、ワンルーム建設に関して情報が入ってきます。戸数に応じて業者に働き掛けができるか検討できればと考えています。

○区長

区としては、建築業者や管理会社を把握するのは難しいが、「転入者のお知らせ」などである程度は対応できると思います。

○区長

お時間の関係で、あと、お一人だけ、ご意見・ご質問をお受けします。ございますでしょうか？

○参加者 B

役員を長くやっており、引退の時期ですが、役員をお願いしようとした方に、「高齢だから役員はできない。」とか言われて、結局、私が継続してやっている状況です。また、最近、新規に住んだ世帯5件のうち1件しか入ってくれませんでした。

こういう状況で、ごみステーションの維持をどうするのか？

会員以外でも、だれでも使用できるのか？

掃除はどうするのか？悩みごとが多いです。

○中央区地域づくり支援課長

同じ相談が、とても多いです。判例として、ごみステーションの管理費の徴収、掃除など義務を課すことはできます。この前、生涯大学校で学んだ方が作成したごみステーション用木製ストッカーの設置にあたり、使い方の説明をするためにその町内自治会で利用者を集めた時に、その使い方以外にも一般的な排出マナーを含めた研修も行った事例もあります。

いずれにしても、ごみステーションについて、所管の収集業務課や環境事業所と連携をとっていきます。

○区長

「町内会費徴収を条件としては、ごみステーション利用制限はできない。」という最高裁判例があるが、町内会員以外にも管理費や清掃義務を課すことは問題ないと考えています。

○区長

今日のテーマの町内自治会のICT化についてまとめると、デジタル化の進歩は目覚ましく、変化していくので、使いこなすのは、難しい点もありますが、町内自治会の加入促進や活性化させる有効な手段のひとつであることは間違いのないと思っています。

これで、本日の区民対話会は終了します。

本日は、ご参加いただき、ありがとうございました。